

# 第10回 アジア学生交流環境フォーラム (ASEP2022)



## 実施報告書



8月2日開講式

## 【実施概要】

本フォーラムは、当財団と国連環境計画生物多様性条約事務局との合意に基づいて実施されており、本年度で10回目を迎えました。日本を含むアジア各国の大学生・大学院生が、英語を共通言語として、各国の自然環境や歴史、文化、価値観の違いなどを学びながら、地球環境問題について討議を行います。このことを通じて、グローバルステージで活躍する環境分野での人材育成を目指しています。これまでに10カ国延べ679名の大学生が参加しました。

本年は、昨年引き続きオンライン開催とし、9カ国9大学84名の学生がリモートで参加しました。幹事校である早稲田大学がAEON TOWAリサーチセンター（※）の協力のもとプログラムを企画しました。学生は、「里山、私たちの未来のコモンズ」をテーマとするさまざまな視点からの講演を受講し、多国籍で構成した10チームに分かれてグループディスカッションを行いました。最終日には各チームの議論の成果について参加者全員で共有を行いました。

■テーマ	里山、私たちの未来のコモンズ (SATOYAMA, Our Future COMMONS)
■開催日程	2022年8月2日(火)～4日(木)
■開催形式	オンライン開催(Zoom)
■主催	公益財団法人イオン環境財団
■後援	外務省
■幹事校	早稲田大学
■参加校 (※国名順)	早稲田大学(日本) 清華大学(中国) 高麗大学校(韓国) ベトナム国家大学ハノイ校(ベトナム) マラヤ大学(マレーシア) 王立プノンペン大学(カンボジア) インドネシア大学(インドネシア) チュラロンコン大学(タイ) フィリピン大学(フィリピン)、計9大学
■参加人数	学部生および大学院生計84名、教授・大学職員計20名
■協力	早稲田大学 TOWA リサーチセンター
■メインプログラム	8月2日(火) 開講式、基調講演、グループワーク 8月3日(水) 講演、グループワーク 8月4日(木) 成果発表、閉講式

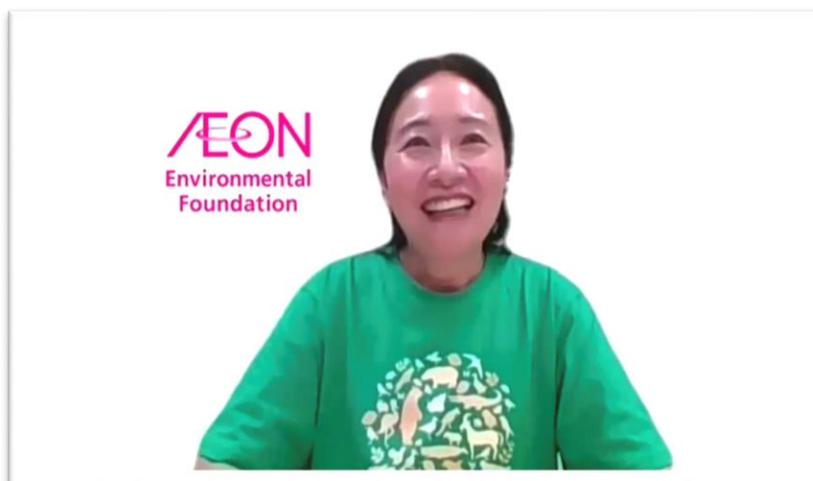
# 【活動様子】

一日目、8月2日(火)

開講式



幹事校代表挨拶  
早稲田大学 田中愛治総長



主催者挨拶 山本百合子専務理事



来賓挨拶  
駐日カンボジア王国特命全権大使 トゥイ・リー 閣下

# 基調講演

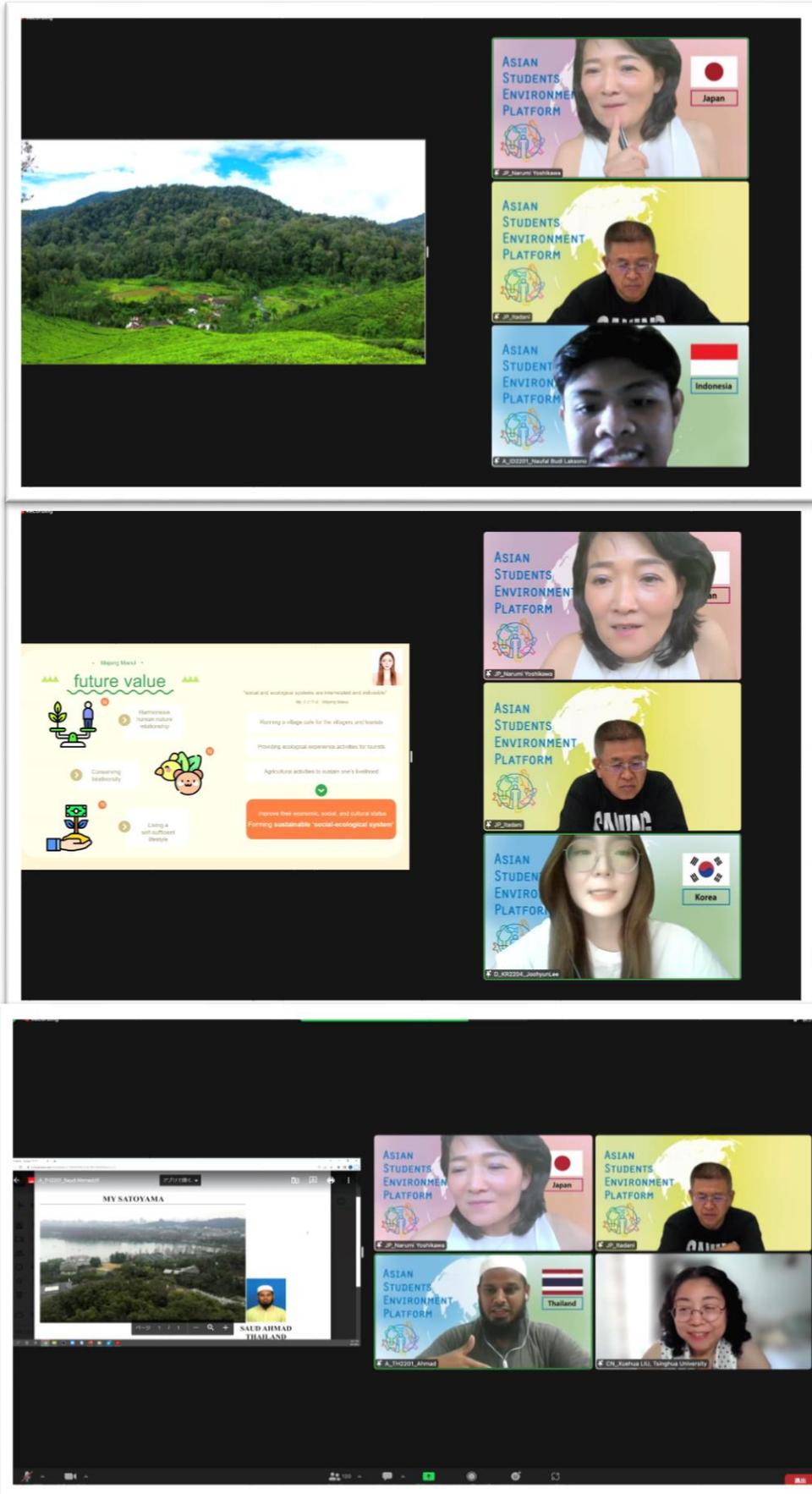
The image shows a Zoom meeting interface. The main content is a presentation slide titled "The image of Aya model. Creation of new values in Satoyama." The slide features a central diagram with "Aya Town AEON Forest" at the top, "Regional revitalization connected to Forest creation" in the middle, and "Population has increased" at the bottom. The diagram is divided into four quadrants: "Society" (Medical care, Health, Academic research, Education, Learning), "Economy" (Sightseeing, Trip, Entertainment, Agricultural and forest products), "Environment" (Biodiversity conservation, Water source recharge, Carbon accumulation), and "Economy" (Agricultural and forest products). The AEON Environmental Foundation logo is in the top right corner. A speaker, identified as "JL JP\_Hadam", is visible in a video window on the right side of the slide. The Zoom control bar at the bottom shows 117 participants and various meeting controls.

イオン環境財団の板谷による基調講演

The image shows a Zoom meeting interface. The main content is a presentation slide titled "1. THE THEME" and "ASEP2022". The slide features the text "SATOYAMA" in large green letters, followed by "Our Future COMMONS" in smaller green letters. A speaker, identified as "JP\_Narumi Yoshikawa", is visible in a video window on the right side of the slide. The speaker's name and a Japanese flag icon are displayed next to her. The Zoom control bar at the bottom shows 120 participants and various meeting controls.

早稲田大学の吉川教授による基調講演

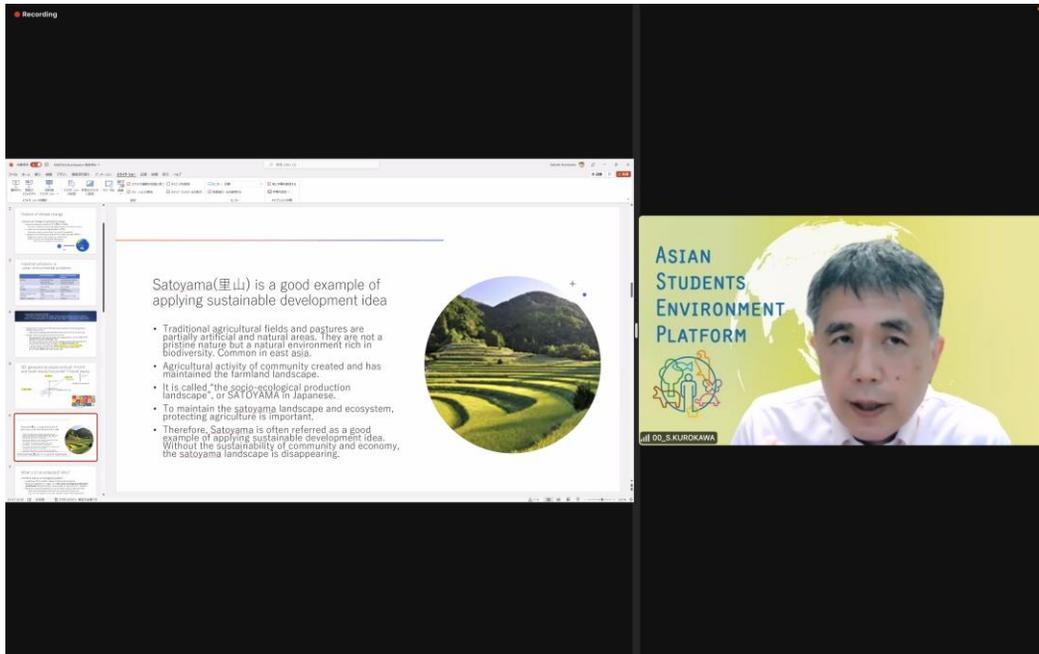
# 基調講演まとめ



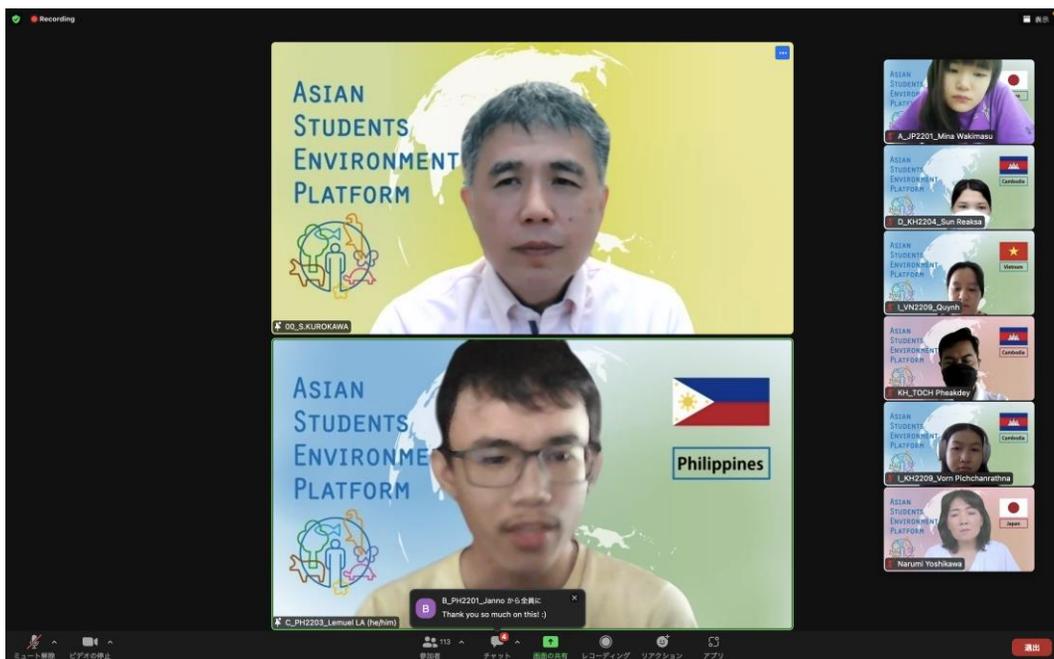
テーマについて理解を深めるため、基調講演後、数名の参加学生に自分がイメージした里山を紹介してもらった

# 二日目、8月3日(水)

## レクチャー



早稲田大学 黒川哲志教授によるレクチャー  
「日本における社会生態学的生産ランドスケープを保全するための法的スキーム」

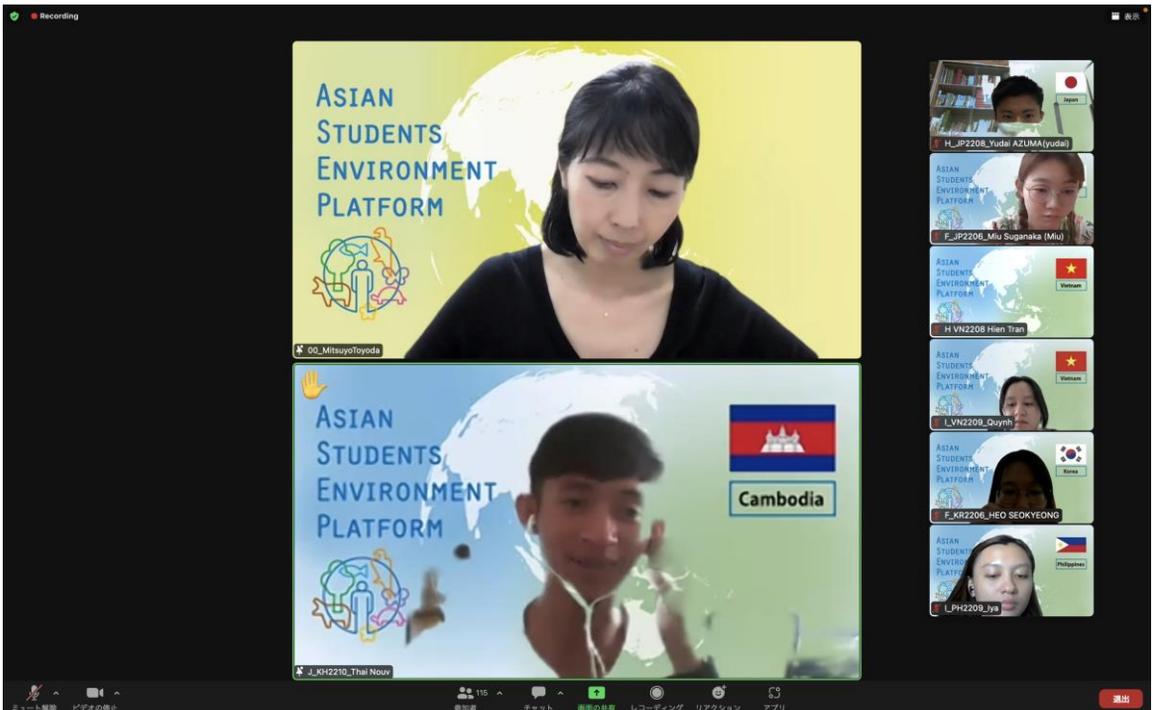


質疑応答

# レクチャー



新潟大学 豊田光世准教授によるレクチャー  
「里山里海保全のためのアクターコミュニティの育成」



## 質疑応答

三日目、8月4日(木)

シェアリング(学習成果の発表)

**How to Inherit?**

01 Education & Experience  
Image: Project Learning Trees

02 Technology & tools  
Image: Dataflag

03 Coordination & Collaboration  
ASIAN STUDENTS ENVIRONMENTAL PLATFORM

Aチーム

**CURRENT AND FUTURE SATOYAMA VALUE**

2 students visited a satoyama landscape in Japan, after seeing the landscape for themselves, they decided to talk to the residents living there to know more. A couple happened to be harvesting their field nearby.

-> A sustainable satoyama, where there is a harmonious relationship between humans and nature.

Bチーム

# シェアリング(学習成果の発表)

## Recommendations

Based on our discussions, these are the things we recommend:

- Promoting indigenous and cultural knowledge systems
- International solidarity among youth/students with communities practicing satoyama initiative
- Include Satoyama in school curriculum/subjects
- Satoyama in academic research and projects
- Develop circular economy

## Cチーム

## Satoyama for future generations

These are **three focal points** which our group members think are important to maintain for future Satoyama.

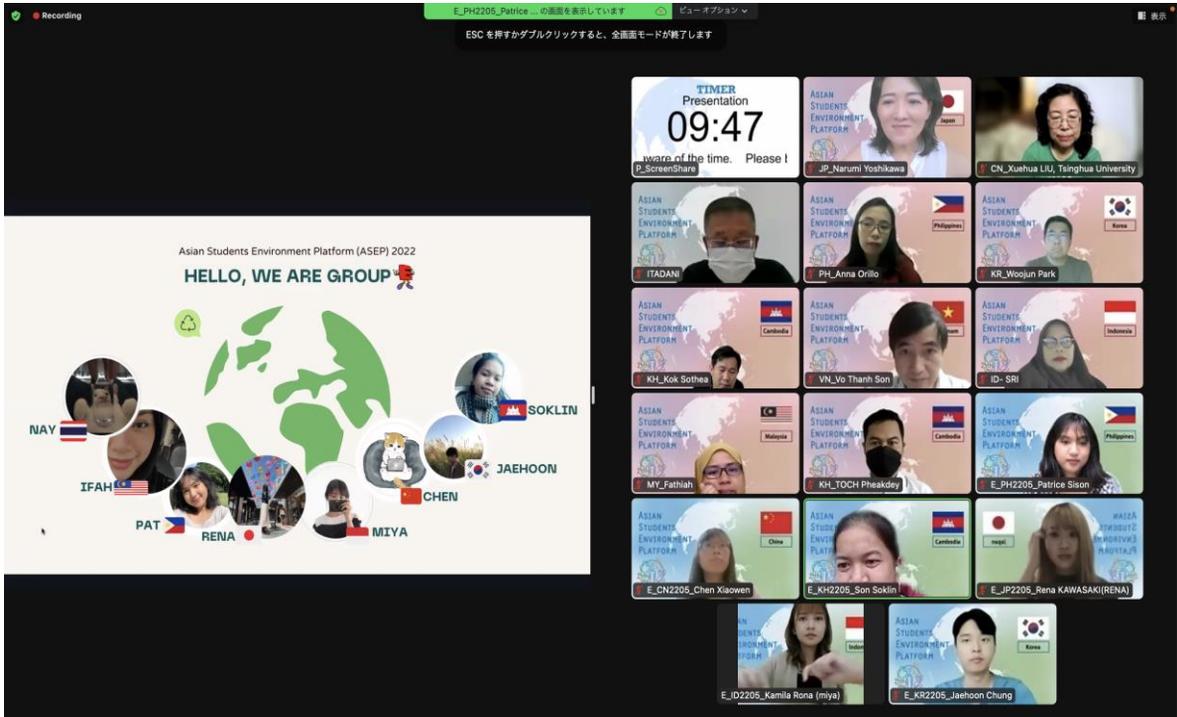
• Economy

• Natural Resources

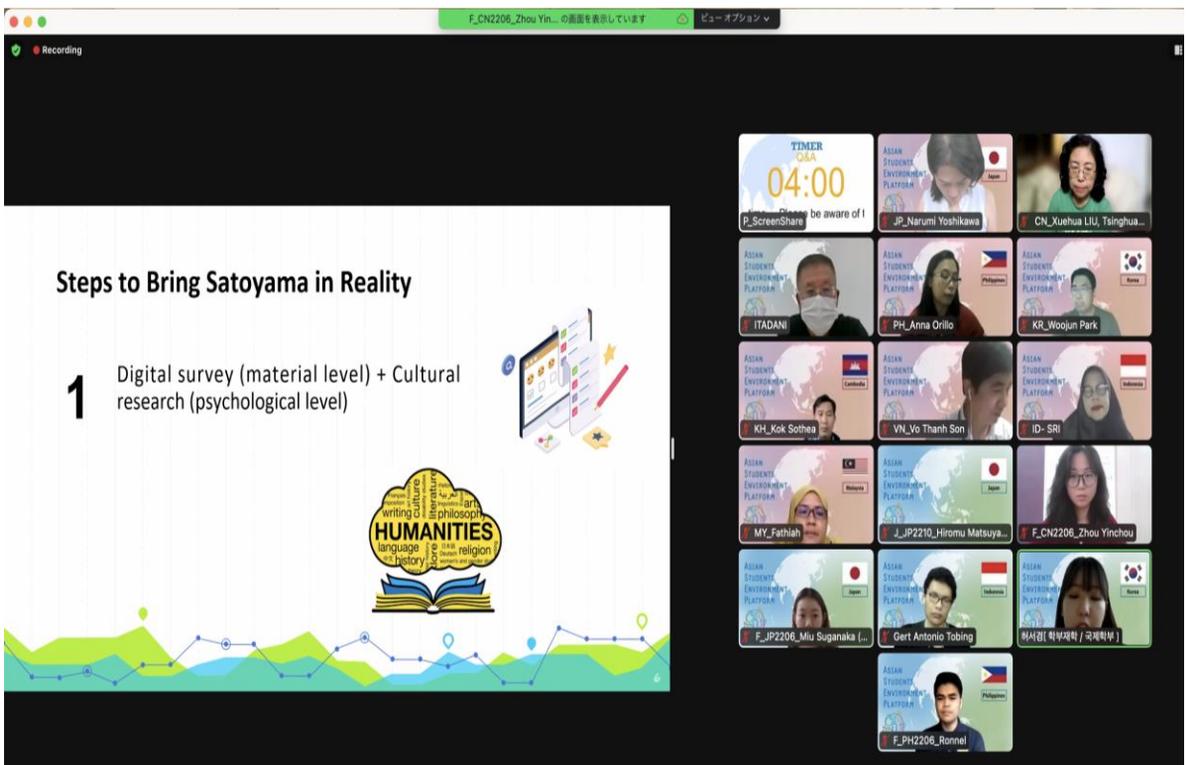
• Governmental support

## Dチーム

# シェアリング(学習成果の発表)

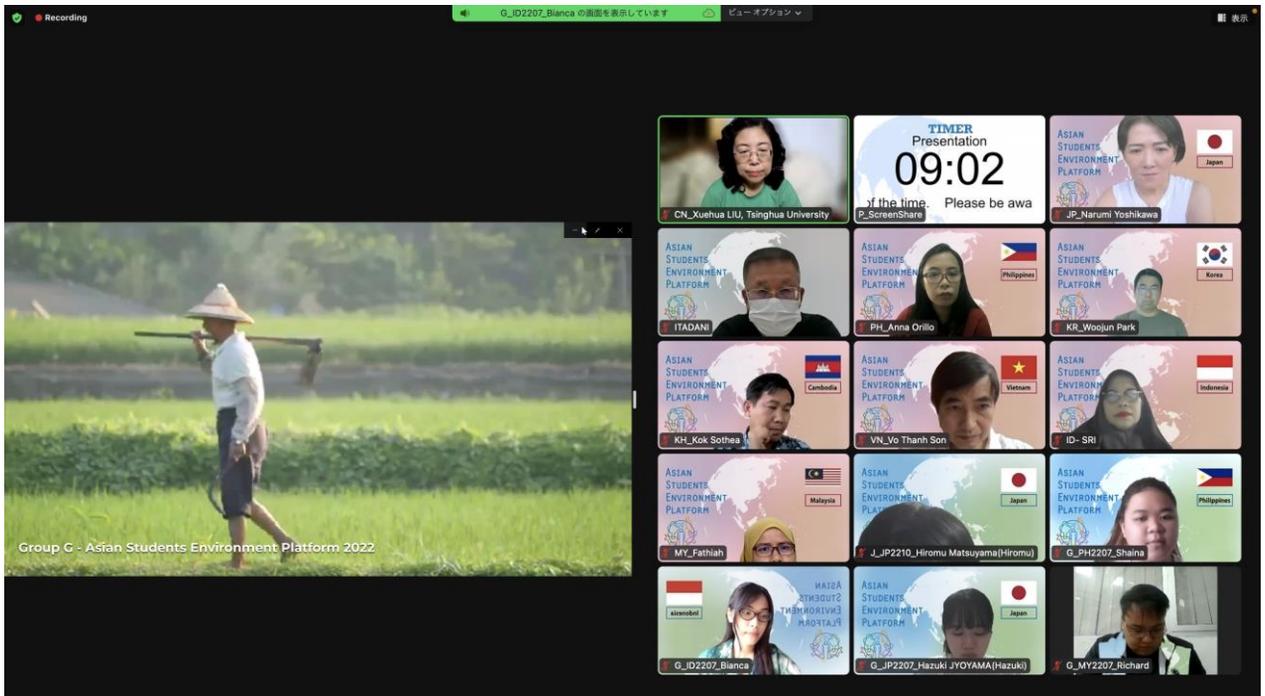


Eチーム

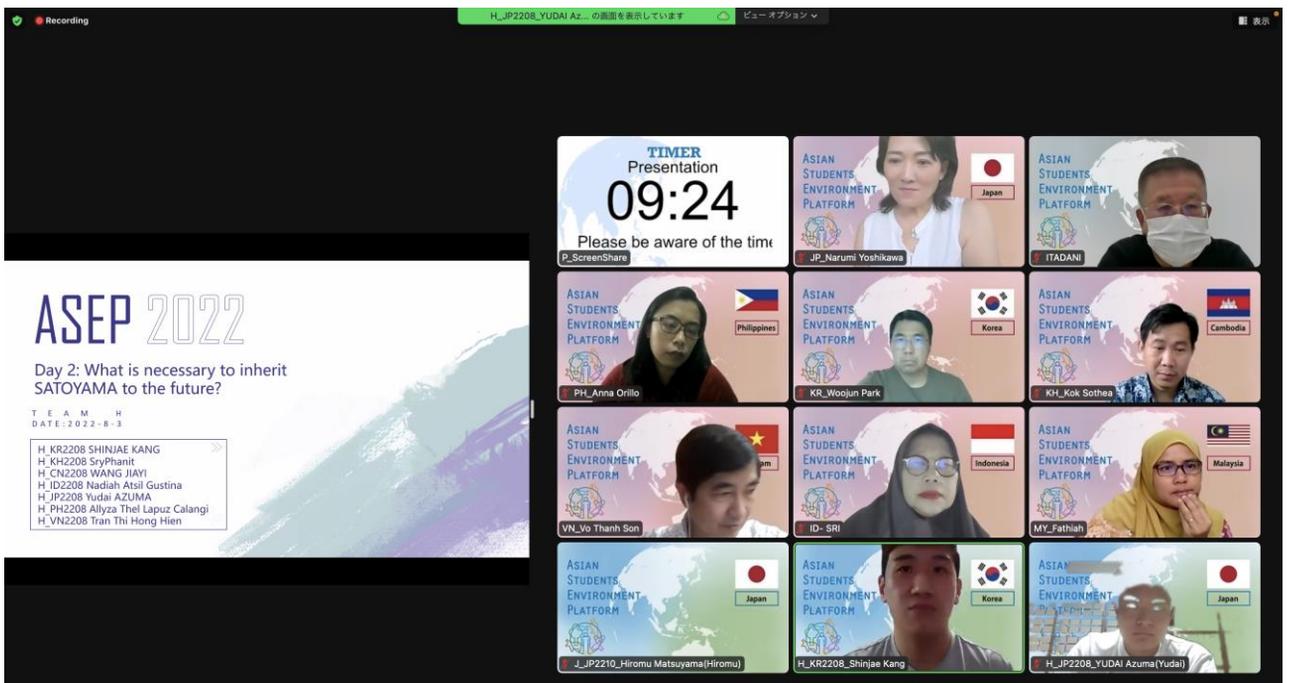


Fチーム

# シェアリング(学習成果の発表)

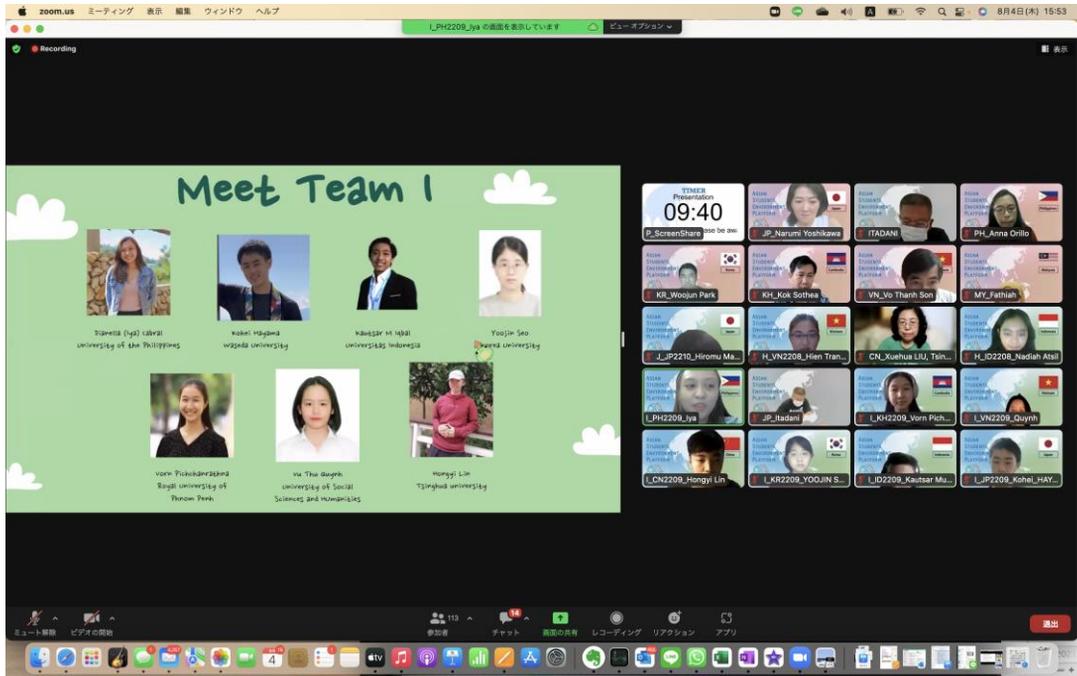


Gチーム

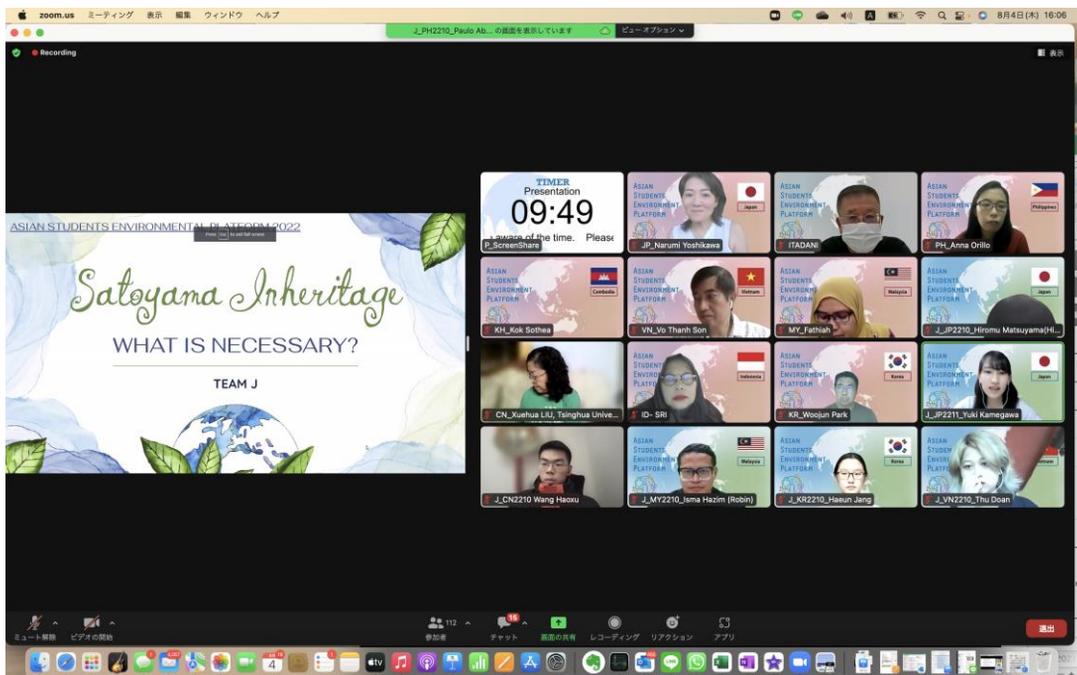


Hチーム

# シェアリング(学習成果の発表)



Iチーム

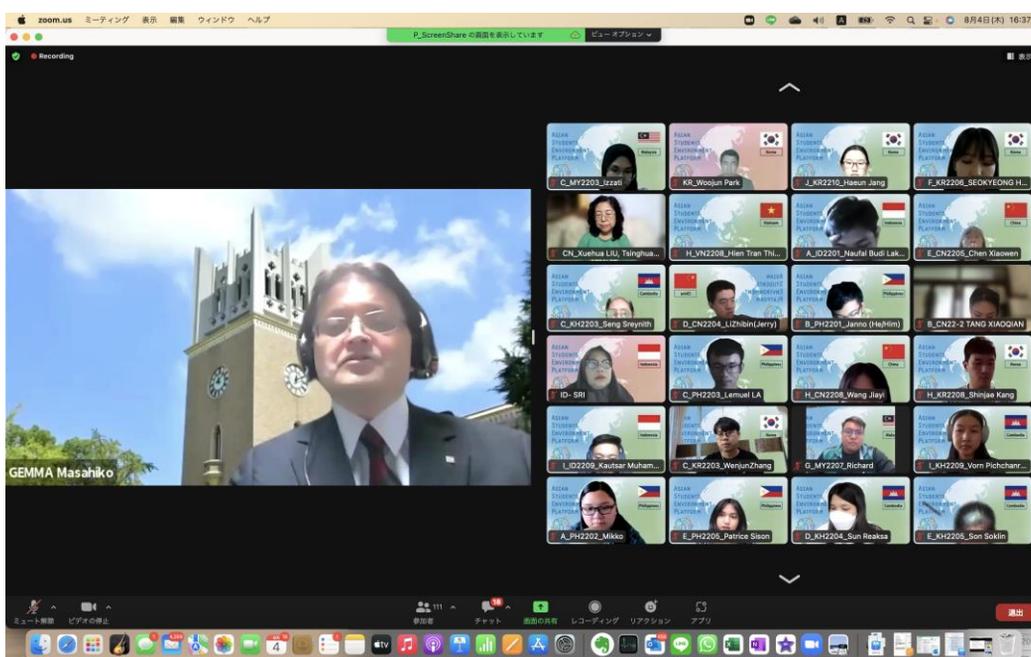


Jチーム

# 閉講式



参加大学の教授代表によるジェネラルコメント  
ベトナム国家大学ハノイ校 ポ・サン・ソン博士



閉講挨拶  
早稲田大学 弦間理事

# フェアウェルパーティ

Rena KAWASAKI

Waseda Uni.  
Matue City,  
Simane Prefecture



THIS IS MY  
**SATOYAMA**

ASIAN  
STUDENTS  
ENVIRONMEN  
PLATFORM



MY SATOYAMA

SANTIKUMURBAN



My Satoyama:  
Ecological Wisdom from Traditional Human  
Settlements in a World Cultural Heritage Area -  
Hujiangyan Traditional Area, Sichuan Province

ASIAN  
STUDENTS  
ENVIRONMI  
PLATFORM



ASIAN  
STUDENTS  
ENVIRONMI  
PLATFORM



My SATOYAMA

ASIAN  
STUDENTS  
ENVIRONMENT  
PLATFORM



参加学生全員による自己紹介を兼ねて「私の里山」を紹介する

2022年7月29日  
公益財団法人イオン環境財団



アジア9カ国の大学生が「里山、私たちの未来の commons」について討議します。

## 第10回「アジア学生交流環境フォーラム」をオンラインで開催

公益財団法人イオン環境財団（以下、当財団）理事長 岡田元也イオン株式会社取締役兼代表執行役会長）は、8月2日（火）から4日（木）の3日間、第10回「アジア学生交流環境フォーラム（ASEP: Asian Students Environment Platform）以下、本フォーラム）」をオンラインにて開催します。

本フォーラムは、当財団と国連環境計画生物多様性事務局との合意に基づいて実施されており、今年で10回目を迎えます。

日本を含むアジア各国の大学生・大学院生が、英語を共通言語として、各国の自然環境や歴史、文化、価値観の違いなどを学びながら、地球環境問題について討議を行います。このことを通じて、グローバルなステージで活躍する環境分野での人材育成を目指しています。これまでに10カ国679名の大学生が参加しました。

本年は、昨年に続きオンライン開催とし、9カ国9大学91名の学生がリモートで参加します。幹事校である早稲田大学が、AEON TOWAリサーチセンター（※）の協力のもとプログラムを企画しました。学生は、「里山、私たちの未来の commons」をテーマとするさまざまな視点からの講演を受講し、多国籍で構成した10チームに分かれてグループディスカッションを行います。最終日には、各チームの議論の成果について参加者全員で共有を行って、教授陣の指導を受けます。

当財団は今後も、ひとつしかない地球を守るため、環境教育をはじめとする環境活動に積極的に取り組んでまいります。

（※）2020年に当財団と早稲田大学が連携して設立した機関です。環境をはじめとした地域課題への対応や人材育成など、新たな価値を創造することで、持続可能な社会の実現を目指しています。

記

- 期 間： 8月2日（火）～4日（木）（オンライン開催）
- 主 催： 公益財団法人イオン環境財団
- 幹 事 校： 早稲田大学（日本）
- 参 加 校： インドネシア大学（インドネシア）、王立ブノンベン大学（カンボジア）、清華大学（中国）、早稲田大学（日本）、マラヤ大学（マレーシア）、高麗大学校（韓国）、フィリピン大学（フィリピン）、チュラロンコン大学（タイ）、ベトナム国家大学ハノイ校（ベトナム）の9校
- 後 援： 外務省
- 出席者（予定）
 

開 講 式： 早稲田大学 総長 公益財団法人イオン環境財団 専務理事	駐日カンボジア王國 特命全權大使 田中 愛治 様 山本 百合子 様	トウイ・リー 閣下 田中 愛治 様 山本 百合子 様 張岡 正彦 様
--	---	---
- 主なプログラム：
  - 8月2日（火）開講式・基調講演・グループワーク
  - 8月3日（水）講演・グループワーク
  - 8月4日（木）成果発表・閉講式

以上

## ニュースリリース



Facebook



Instagram